

証券化商品等への投資およびサブプライム関連投資の状況

金融安定化フォーラム(FSF)の報告を踏まえ、平成22年度決算における証券化商品等への投資およびサブプライム関連投資の状況について、以下のとおり報告します。

なお、表中の項目については以下のように定義しています。

- ・含み損益は、時価から帳簿価額を差し引いたものです。
- ・実現損益は、売却損益、償還損益および減損額の合計です(利息及び配当金等収入は含んでいません)。

1. 投資状況

(1) 特別目的事業体(SPEs)一般

平成22年度末における保有および平成22年度における実現損益はありません。

(2) 債務担保証券(CDO)

平成22年度末における保有および平成22年度における実現損益はありません。

(3) その他のサブプライム・Alt-Aエクスポージャー

平成22年度末における保有および平成22年度における実現損益はありません。

(4) 商業用不動産担保証券(CMBS)

(単位:億円)

	平成22年度末時価		含み損益		平成22年度 実現損益
		平成21年度末差		平成21年度末差	
商業用不動産担保証券(CMBS)(注)	51	△19	0	0	—
日本	51	△19	0	0	—

(注)裏付けとなる不動産の用途別内訳は、オフィス用不動産70.6%、物流施設29.4%(いずれも帳簿価額ベース)です。

(5) レバレッジド・ファイナンス

平成22年度末における保有および平成22年度における実現損益はありません。

(6) その他の証券化商品等

(単位:億円)

	平成22年度末時価		含み損益		平成22年度 実現損益
		平成21年度末差		平成21年度末差	
①RMBS	7,327	1,392	77	37	△212
日本	5,241	387	126	66	3
米国	2,086	1,005	△49	△28	△216
②ヘッジファンド	394	△16	△88	4	△31
③クレジットリンク債・ローン	766	274	6	△5	—
④その他(その他の仕組債等を含む)	1,118	△27	△44	△15	—

2. 証券化商品等全体の内訳

平成22年度における、サブプライムローン関連商品での損失はありません。また、平成22年度におけるサブプライムローン関連商品への直接投資はありません。

証券化商品等全体への投資状況は以下のとおりです。

(単位:億円)

	平成22年度末時価		含み損益		平成22年度 実現損益
		平成21年度末差		平成21年度末差	
証券化商品等全体	9,657	1,603	△48	21	△244
CMBS	51	△19	0	0	—
RMBS	7,327	1,392	77	37	△212
ヘッジファンド	394	△16	△88	4	△31
クレジットリンク債・ローン	766	274	6	△5	—
その他(その他の仕組債等を含む)	1,118	△27	△44	△15	—

3. その他

平成22年度末における、明治安田生命単体および連結子会社でのサブプライムローン関連商品への直接投資はありません。

【用語について】

CMBS	商業用不動産担保ローンを裏付資産とする資産担保証券
RMBS	住宅ローンを裏付資産とする資産担保証券
クレジットリンク債	債券に別の信用リスクを結びつけた証券
クレジットリンクローン	ローンに別の信用リスクを結びつけた証券化商品